

クラブインフォメーション

平成21年12月

発行:鳥取県体育協会

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:tottoriken@japan-sports.or.jp 第7号

開催報告



トリピー レク・スポ フェスタ

平成21年11月1日(日)、コカ・コーラウエストスポーツパーク県民体育館で、「トリピー レク・スポ フェスタ」が開催されました。

この日は、前日の晴天とうってかわって、大荒れの天候でとても寒く、強風で屋台のテントの支柱が曲がり、早い店じまいとなったほどでした。



鹿の助スポーツクラブ



打吹スポーツクラブ



親子体操教室



ヒットだ！ターゲット



総合型のコーナー

そんな天候・寒さにも負けず、オープニングセレモニーでは、総合型クラブから鹿の助スポーツクラブの「エアロビクス」、打吹スポーツクラブの「ヒップホップダンス(小学生)」を披露していただきました。鹿の助スポーツクラブの皆さんは、おそろいのピンクのかわいいTシャツと黒のパンツという出で立ちで、YMCAの音楽に乗って息の合ったダンスをいきいきと披露してくださいました。

打吹スポーツクラブのヒップホップダンスの皆さんは、発表に向けて練習回数を増やしたり、当日は朝早くから会場に入りリハーサルを行うなど、気合いを入れて臨んでくれました。

みんな、EXI●Eのメンバーかと思うくらい、クールでかっこいいダンスを見せてくれました。講師の藤川さん(クラブインフォ2号で紹介)も、さすが先生、華麗なダンステクで会場を魅了していました。

その他にも、県レクリエーション協会加盟団体によるフォークダンスなどの発表が続き、盛りだくさんのオープニングセレモニーでした。この日に向けて練習を積んでこられた皆さん、すばらしい演技をどうもありがとうございました。

今年度は、スポレクトリピーフェスタと鳥取県レクリエーション大会を同時開催したことにより、スポーツだけではなく、万華鏡づくり、バルーンアート、クラフトなどの工作体験も楽しめる内容となっていました。

メインアリーナでは、'98年ソウル五輪の体操競技に出場された信田美帆さん、元「太陽とシスコムーン」メンバーによる健康・体力づくり体操教室、親子体操教室が行われました。親子でふれあいながらの体操は、とても楽しそうでした。

ニュースポーツ体験コーナーでは、キンボール、バウンスボール、ターゲット・バードゴルフ、ディスクゴルフがあり、参加者の皆さんに体験していただきました。

ディスクゴルフの「ヒットだ！ターゲット」では、ボードを打ち落とそうと何度も並んで的に向かってディスクを投げていました。我が体育協会の中村も挑戦しましたが、方向が定まらず苦戦していました。「子ども上手〜」。(中村の漏らした言葉)

サブアリーナでは、アルプスの少女のような衣装を着た人たちがフォークダンスを楽しんでおられました。男性の参加がもっとあれば、さらに華やいだ(?)ことと思います。

2階のフロアは、室内ペタンク、輪投げ、スカイクロスの体験コーナーとなりました。

あいにくの天候で、予定していた屋外の体験コーナーは残念ながら中止となってしまいました。

参加者の皆さんに総合型クラブを知ってもらえるよう、県内クラブを紹介するコーナーを体育館入り口に設置しました。クラブインフォメーションやクラブのチラシなど手にとってもらえていたようです。

今回のイベントで、「総合型クラブ」という名前やクラブの活動内容を知っていただき、総合型クラブへの理解・参加につながっていけばうれしく思います。これからも、いろいろな所で総合型クラブをPRしていきたいと思います。

クラブ訪問コーナー

中村です

田淵です



ウォーキング教室



大山町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員

平成21年11月14日(土)、大山町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会主催のウォーキング教室に行ってきました。爽やかな秋晴れの中、9名の参加者と約1時間のウォーキングを楽しみました。

最初に日本ウォーキング協会公認主任指導員の生田清さんから、ウォーキングにおける、雨対策・安全確保のためのマナー等の説明を受けました。

【雨対策グッズ】



上下セパレート合羽



ポンチョ



スパッツ：足全体



スパッツ：膝下

【安全確保】

- ・ 大道で信号のない所を横断するとき、時間短縮のため横一列になって一斉に渡る。
- ・ 横断歩道のある所は、詰めて一斉に渡る。(自分だけ先に行かない。)
- ・ 歩道がないとき原則右側通行だが、目的地によっては近い距離で2度渡るようなときは危険なので、そのときは、左側を歩く。
- ・ 歩道のあるところで自転車が来たら、左に寄る。(内側は車が通るので危険)
- ・ 長時間歩くときは、20分間隔程度に水分補給する。
- ・ ゴールした後は、しっかり水分補給とストレッチをする。
- ・ 冬は毛糸の帽子、手袋、耳被いなどの防寒対策が重要である。
- ・ 傘は危険なので差さない。

その他に1時間毎に休憩を取る。その時、靴を脱いで足をリラックスさせる。(靴下が濡れているとマメができてやすいので、靴下を乾かしたり、履き替える)

信号待ちの時は、つま先歩きをしてリフレッシュをする。(シグナルストレッチ)

階段・山・急な坂道を歩くときの注意点として、膝の屈伸で登る。小さく歩く。下りる時は膝を縮めて体重移行する。足の裏全体で歩く。頭まっすぐ、背筋伸ばしたまま歩く。

他にも、地元の歴史などの話も伺うことができました。(歩く歴史図鑑です。)

生田さんが今まで参加したウォーキング大会が記載してあるパスポートも見せていただきました。そのパスポートには、距離または回数の記入と認定印が押してあり、それが貯まると表彰してもらえるというものです。パスポートが埋まって行く楽しみもあるので、旅行に行く時にウォーキングが開催される日程に併せて行くというのもありかな、言われていました。



講師：生田 清さん

ウォーキングは、マラソンや登山と違って目的がない。各々の趣味を活かして、カメラ・バードウォッチング・神社めぐり等の目的で時間をかけてゆっくり歩いたり、逆にショ

ートコースにしようとか自由にできる。地元の人とのふれあい、2度とない景色に出会えることの感動、楽しさはたくさんあります。感動がお土産です。と、ウォーキングの魅力を話して下さいました。



参加者の声

歩き方・道の渡り方・ストレッチなど、とてもためになりました。天気もよく、気持ちよく歩けました。都合がつけばまた参加したいです。(大山町から参加の女性)

因幡の白兔同様伯者の白兔があるというのを、教えていただきました。白兔が甲川に落ち、木の枝に掴まって沖まで流されていった。その後は、因幡の白兔と同じだということです。それで川の名前がついたのだと・・・



第2回中国ブロッククラブミーティング2009が開催されました



11月28・29日、島根県松江市にて(財)日本体育協会主催による「第2回中国ブロッククラブミーティング2009」が開催されました。

今回は2日間に渡り開催され、1日目は現在日本体育協会の創設支援を受けている団体、2日目はt o t oのスポーツ振興くじの活動支援を受けている団体と県総合型クラブ協議会加入クラブが参加されました。

鳥取県からは、若桜町総合型クラブ設立検討委員会、大山町総合型クラブ設立準備委員会、打吹スポーツクラブ、泊クラブが出席されました。

今回は、中国ブロック内のクラブがクラブの概要について発表した後、それぞれのクラブのブースに分かれ、各テーマに基づいた活動などについてプレゼンし、質疑応答、情報交換するという内容でした。

発表されたのは、①小規模クラブ：おおの輪・和・ワークラブ・島田総合スポーツクラブ（島根県）、②行政主導クラブ：スポーツレクリエーション倶楽部くせ（岡山県）、③公民館中心のクラブ：大朝人くらぶ（広島県）、④自主自立クラブ：goppo ええぞなクラブ（山口県）の5クラブでした。

ブースに分かれてからの発表では、クラブ立ち上げのきっかけ、設立までのプロセス、準備中でつまづいたことなど、実際にクラブの立ち上げから関わっておられる方の生の声を聞くことができました。

現在は活動が順調に見えるクラブも、様々な壁を乗り越えて来られていることが分かりました。

クラブ立ち上げの際によく話題に上がる「地域内の既存団体との関係」について、発表されたクラブに共通していたのは、お互いの活動を手伝うなどの連携はとっているが、基本的にはそれぞれの活動をそれぞれが行っている。地域内の団体をすべてクラブに巻き込むことは難しいので、一緒にできるものだけをやり、程よい距離感で共存している、ということでした。

普段スポーツをしていない、したくてもできない人へスポーツする機会を提供する、既存の団体が行っていない種目をクラブが行う、といった役割を担っているクラブが多いと感じました。

各ブースのプレゼンテーション終了後のコーヒブレイク&情報交換会では、席を自由に移動しながら、先ほどのプレゼンで聞けなかったこと、もっと踏み込んだ質問などの情報交換を行いました。

各クラブから持参いただいた、各県の銘菓をいただくというリラックスした雰囲気の中、参加者も打ち解けた様子で会話が弾んでいました。

総合型クラブ地方企画班の関口班員によるまとめの中で、地域によって環境や実情は異なり、持ち帰ったノウハウを全てクラブに反映させることは難しい。使えるものは活用し、実際にやってみてなじまないことは無理をせず方向転換し、独自のカラーを作り出していけばよいとお話されました。また、情報を仕入れるためには、自分の足を使うことが大切であると言われていました。他県クラブの話を開けるこの会は、情報を仕入れる絶好の機会です。鳥取県のクラブも積極的に参加していただきたいと感じました。参加された皆さん、お疲れさまでした。



今回のクラブミーティングの資料をご希望の方は、鳥取県体育協会中村までご連絡ください。発表クラブのプレゼン資料や広報紙など、参考になるものがたくさんあります！



2009日独スポーツ少年団指導者交流事業を開催しました



11月14日(土)～17日(火)、日独スポーツ少年団指導者交流事業として、ドイツスポーツユーгент(少年団)の指導者10名を受け入れ、日本とドイツのスポーツ少年団関係者の交流が行われました。

17日は県庁議会棟で、今後の青少年スポーツのあり方を意見交換するディスカッションが行われました。

ディスカッションには、スポーツ少年団、小学校PTA関係者、小学校校長、県教育委員会の方々、そして、総合型クラブ代表として「スポねっとちづ(智頭町)」の古田浩代表に参加していただきました。



テーマは「地域と学校の連

携による青少年スポーツの振興～小学生のスポーツ活動のあり方～」のもとに、両国の現状・課題の発表後、

意見交換を行いました。

意見交換では、総合型クラブ代表の古田さんへ質問が多く寄せられ、地域社会を基盤としたクラブ組織が整っている生涯スポーツの先進国であるドイツは、やはり総合型クラブへの関心が高いことで、学校側も保護者側も賛同してくれました。

独：現在も、学校の先生が指導者として関わっているのですか？

古：以前は先生と地域の指導者が混合で指導していましたが、ここ数年は学校側は手を離しており、保護者、地域の方で運営していますが、先生も事務的な仕事など手伝ってくださっているのを助かっています。

独：今は保護者、地域の人中心で指導されているようですが、皆さん指導者資格を取得された方なのですか？



古：指導者資格を持った方を各競技に必ず1人は配置するようにしています。最初は保護者の方が運営の手伝いをしてくださいますが、だんだん指導する側に回りたくなる方もいらっしゃいます。そういう方は、各競技で指導者資格の研修を受けてもらうようにしています。

その他にも、ここには書ききれないほどの活発な意見交換が行われました。両国とも、スポーツを取り巻く環境や社会背景などの違いはありますが、スポーツを通じ、次世代を担う子どもたちのために何ができるかを真剣に考える気持ちは国境を越えて通じているのだと感じました。この交流が、今後の総合型クラブの発展に活かして行ければと思います。様々な意見が交わされた有意義な2時間でした。Danke scho"n! (ありがとう)

日独スポーツ 少年団指導者交流 ディスカッションに 総合型クラブも参加 しました！



と感じました。

古田さんとドイツ指導者の方と交わされた意見交換をご紹介します。

独：クラブを地域に作る際、地域内にある6つの小学校の校長先生、これまで活動されてきた指導者の方々とどのように活動を調整したのですか？

古：子どもの数が減っている中、もう学校単位ではやりたい競技がなくなってきていました。そこで、自分のやりたい種目がある学校に、自由に行き来できるような仕組みにしました。また、各競

鳥取県体育協会からのお知らせ

平成21年度第5回クラブマネジャー研修会及び第4回総合型クラブ連絡協議会を開催します

平成22年1月16日(土) 伯耆しあわせの郷 小研修室(倉吉市小田458)

(1) 第5回クラブマネジャー研修会

時 間：10:00～15:15

講義Ⅰ：「施設の管理・運営」

講義Ⅱ：「クラブで安全に活動するために」

講義Ⅲ：「事業計画と事業評価」

講 師：南木 恵一 氏(株式会社メディアプロ スポーツ事業部)

(2) 第4回総合型クラブ連絡協議会

時 間：15:30～17:00

内 容：「鳥取県総合型クラブ連絡協議会の組織化について」

問合せ：財団法人鳥取県体育協会(担当：中村)

TEL 0857-28-1288

FAX 0857-28-1399

今年度最後の研修会です！ご参加よろしくお願いします